

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）
 （機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））
 平成 28 年 3 月分（6 月 30 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H28.3.18	鉄イオン供給装置 （海水系熱交換器の細管内に防食性を高める保護皮膜を形成するため、鉄イオンを供給する装置）	鉄イオン供給装置の点検後の試運転において、当該装置の空気抜き配管の流量が低いことを確認した。 原因調査の結果、空気抜きラインの弁の弁体が腐食により脱落し流路を塞いでいるものと判明した。 このため、弁体の回収、および当該弁の取替えを行い、復旧した。	処置済み	海 水 熱交換器 建 屋
2	H28.3.26	タービン区域換気空調系設備 （タービン建屋内の空気の換気、および温度を適切に調整するための設備）	タービン区域換気空調系設備において、4 台ある排風機のうち 1 台の分解点検を実施したところ、軸受を収納する箱の一部が欠損していることを確認した。 このため、当該箱の取替えを行った。 原因調査の結果、過去に当該箇所に接触して出来た軽微な亀裂が運転時の振動等で進展し、当該箱の一部が欠損したものと推定した。このため、軸受を収納する箱への接触等に注意する旨を手順に反映した。	処置済み	サービ ス 建 屋
3	H28.3.29	原子炉冷却材浄化系設備 （原子炉水中の不純物を除去し水質を維持する設備）	原子炉冷却材浄化系設備の弁の分解点検において、流量調整のための弁に浸食が確認された。 原因調査の結果、流体環境の影響による浸食と推定されたことから、より流体環境の影響を受けにくい材料を用いた弁体に取替えを行い、復旧した。	処置済み	原 子 炉 建 屋
4	H28.3.31	プロセス計算機 （プラントの運転状態の監視・管理の補助設備）	プロセス計算機のプラントパラメータを原子力規制庁に伝送する端末において、2 系統ある伝送路のうち 1 系統の通信障害を示す警報の発生、および復帰を繰り返していることを確認した。 <u>当該事象発生の原因について、調査を実施したが、原因箇所を特定するには至らなかった。</u> <u>このため、当該装置を交換し、正常な動作を確認した。</u>	<u>処置済み</u>	事務本館

5	H28.3.31	原子炉压力容器温度記録計 (原子炉压力容器の温度を記録する計器)	原子炉压力容器温度記録計において、記録用紙に印字する装置とインクリボンが絡まり、動作不良を起こしていることを確認した。このため、当該装置の取替を行い、復旧した。 原因調査の結果、打点機構の打点位置がズれていたことにより、装置の動作不良が発生した。このため、当該装置の点検仕様書に、打点位置がズれていないことを確認する記載を追加した。	処置済み	中央 制御室
---	----------	-------------------------------------	---	------	-----------

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み : 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
 今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み : 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
 なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。